

令和5年度 県民意識調査報告書

(関連部分抜粋)

令和5年8月

秋 田 県

目 次

第 1 部 調査の概要

1	調査の目的	3
2	調査の内容	3
3	調査の設計	3
4	回収結果	3
5	集計・分析に当たって	3
6	統計表	3
7	有効回答者の属性	4
8	標本抽出方法	8

第 2 部 調査結果の概要 11

第 3 部 調査結果の詳細

第 1 章 「～大変革の時代～ 新秋田元気創造プラン」について

1 各戦略の施策に関連する事柄についての満足度（問 1－1、問 1－2）

（1）戦略 1 産業・雇用戦略について

ア	産業構造の変化に対応した県内産業の競争力の強化	19
イ	地域資源を生かした成長産業の発展	21
ウ	歴史と風土に培われた地域産業の活性化	22
エ	産業振興を支える投資の拡大	23

（2）戦略 2 農林水産戦略について

ア	農業の食料供給力の強化	24
イ	林業・木材産業の成長産業化	25
ウ	水産業の持続的な発展	26
エ	農山漁村の活性化	27

（3）戦略 3 観光・交流戦略について

ア	「何度でも訪れたいあきた」の創出	28
イ	「美酒・美食のあきた」の創造	29
ウ	文化芸術の力による魅力ある地域の創生	30
エ	活気あふれる「スポーツ立県あきた」の実現	31
オ	国内外との交流と住民の暮らしを支える交通ネットワークの構築	32

（4）戦略 4 未来創造・地域社会戦略について

ア	新たな人の流れの創出	33
イ	結婚・出産・子育ての希望がかなう社会の実現	34
ウ	女性・若者が活躍できる社会の実現	35
エ	変革する時代に対応した地域社会の構築	36
オ	脱炭素の実現を目指す地域社会の形成	37
カ	行政サービスの向上	38

(5) 戦略5 健康・医療・福祉戦略について	
ア 健康寿命日本一の実現.....	39
イ 安心して質の高い医療の提供.....	40
ウ 高齢者と障害者の暮らしを支える体制の強化.....	41
エ 誰もが安全・安心を実感できる地域共生社会の実現.....	42
(6) 戦略6 教育・人づくり戦略について	
ア 秋田の将来を支える高い志にあふれる人材の育成.....	43
イ 確かな学力の育成.....	44
ウ グローバル社会で活躍できる人材の育成.....	45
エ 豊かな心と健やかな体の育成.....	46
オ 地域社会の活性化と産業振興に資する高等教育機関の機能の強化.....	47
カ 生涯にわたり学び続けられる環境の構築.....	48
(7) 選択・集中プロジェクト及び重点施策推進方針について	
ア 賃金水準の向上.....	49
イ カーボンニュートラルへの挑戦.....	50
ウ デジタル化の推進.....	51
エ 若年女性の県内定着・回帰.....	52
オ 魅力的な働く場の確保.....	53
2 (参考) 各戦略の施策に関連する事柄についての満足度の平均値.....	54
第2章 県政の重要課題について.....	58
第3章 県の特定期間について	
1 県の広報活動について	
(1) 県が発信する情報の取得方法.....	63
(2) 広報活動の現状評価.....	65
2 家庭での防災活動について	
(1) 家庭での災害時に備えた備蓄状況.....	66
(2) 災害に備えた家庭での防災活動の状況.....	67
3 読書活動について	
(1) 読書への興味.....	69
(2) 1日の平均読書時間.....	70
4 がん対策について	
(1) 日本人のがん発症率に関する認知度.....	71
(2) がん検診の受診時期に対する考え方.....	72
5 社会活動・地域活動について	
社会活動・地域活動への取組の頻度.....	73

6	文化芸術の鑑賞・活動について	
	(1) 文化芸術の鑑賞の頻度.....	74
	(2) 文化芸術の活動の頻度.....	76
7	自転車の安全で適正な利用について	
	自転車損害賠償責任保険等への加入状況.....	78
8	男女共同参画について	
	「男は仕事、女は家庭」の考え方.....	79
9	環境保全活動について	
	環境保全活動への参加状況.....	80
10	差別等について	
	(1) 差別等を感じる機会の有無.....	82
	(2) 感じる差別等の種類.....	83
11	高齢者の社会参加について	
	60歳以上の方の仕事や社会活動等への参加状況（令和4年度）.....	86
第4章 県政への自由意見について.....		87
付属資料：調査票.....		99

第 1 部 調査の概要

1 調査の目的

- (1) 県政に対する県民意識を把握し、新秋田元気創造プランの進行管理に活用する。
- (2) 政策等の評価において、県民意識を取り入れる手法の一つとして活用する。
- (3) 県民の提案や要望を把握し、政策立案や問題解決、計画の策定に反映させる。
- (4) 特定課題に関する県民意識を把握し、取組の推進に活用する。

2 調査の内容

- (1) プランに掲げた戦略の施策に関する事柄についての満足度（選択式）
- (2) 選択・集中プロジェクト及び重点施策推進方針に掲げる「秋田で暮らす動機付けに向けた取組」についての満足度（選択式）
- (3) 県の重要課題について（選択式）
- (4) 県の特定課題について（選択式）
 - ① 県の広報活動について
 - ② 家庭での防災活動について
 - ③ 読書活動について
 - ④ がん対策について
 - ⑤ 社会活動・地域活動について
 - ⑥ 文化芸術の鑑賞・活動について
 - ⑦ 自転車の安全で適正な利用について
 - ⑧ 男女共同参画について
 - ⑨ 環境保全活動について
 - ⑩ 差別等について
 - ⑪ 高齢者の社会参加について
- (5) 県に力を入れてほしいことなどについて（自由記述式）
- (6) 回答者の属性について（選択式）

3 調査の設計

- (1) 調査対象： 秋田県に居住する満 18 歳以上の男女
- (2) 標本数： 5,000 人
- (3) 標本抽出方法： 全県 25 市町村の選挙人名簿を基にした層化抽出法
- (4) 調査手法： ア 郵送による調査票の配付
イ 郵送回答とインターネット回答の併用
- (5) 調査期間： 令和 5 年 5 月 17 日(水)～6 月 4 日(日)
- (6) 調査機関： 株式会社フィデア情報総研

4 回収結果

- (1) 調査票回収数 2,285 人（回収率 45.7%）
- (2) 有効回答数 2,284 人（有効回答率 45.7%）

5 集計・分析に当たって

- (1) 比率（%）は、小数点以下第 2 位を四捨五入して表示する。このため、各回答の比率の合計が 100% にならないこと（99.9%、100.1%など）がある。満足度の平均点は、小数点以下第 3 位を四捨五入して算出する。
- (2) 18～19 歳を 10 歳代として集計する。

6 統計表

各設問の回答に関する統計データは、県の公式ウェブサイト「美の国あきたネット」(<https://www.pref.akita.lg.jp>)に掲載している。

第3部 調査結果の詳細

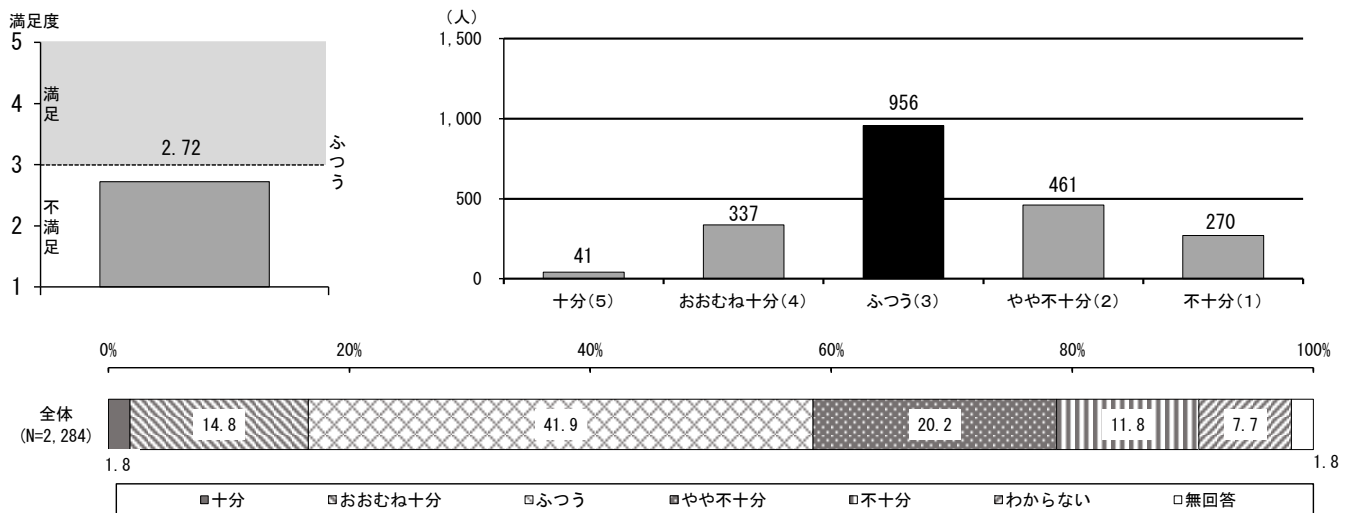
ウ 文化芸術の力による魅力ある地域の創生

問 1-1-11 国内外に秋田ならではの文化の魅力が伝えられている。

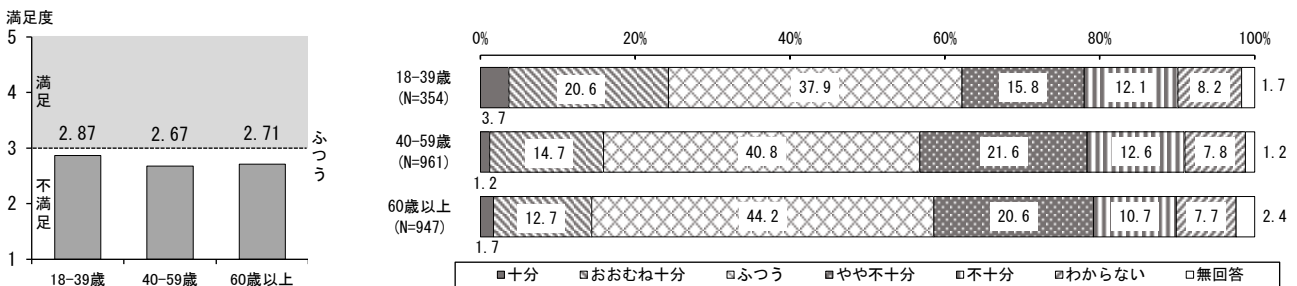
(a) 満足度の状況

5段階評価の満足度の平均値は2.72で、「ふつう」の3より0.28低かった。回答は「ふつう」が最も多かった。

「十分」と「おおむね十分」を合わせた割合は16.6%、「ふつう」は41.9%、「不十分」と「やや不十分」を合わせた割合は32.0%であった。また、不満を感じていない人の割合は58.5%であった。



年代別では、「18～39歳」の満足度は2.87で最も高く、不満を感じていない人の割合は62.2%であった。一方、「40～59歳」の満足度は2.67で最も低く、不満を感じていない人の割合は56.7%であった。



(b) 「不十分」「やや不十分」の理由

「不十分」と「やや不十分」を選択した731人に理由や県に求める取組を自由記述形式で質問したところ、155人(21.2%)から回答があった。

回答の一部

- まつり、伝統行事、芸能、芸術など総合的に秋田の魅力を発信するのにもっと力を入れてほしい。(男性/70歳以上/雄勝地域)
- “何もない”という県民の意識改革。秋田出身や秋田好きだと発信している芸能人を見かけるようになった。そういった方たちの力をもっと借りてもよいのではないか。(女性/30歳代/秋田地域)
- 様々な郷土芸能やお祭りなどまだまだ知られていないものがたくさんあるので、もっと秋田の文化を発信してほしい。(男性/60歳代/秋田地域)

【「不十分」と「やや不十分」を選択した理由や県に求める取組(抜粋)】 問1-1-11 国内外に秋田ならではの文化の魅力が伝えられている。	性別	年齢	居住地域
魅力はあるが十分に伝えられていない。お客様を迎える力がない。	男性	60～69歳	山本地域
ミルハスの駐車場の設計があまり良くないと感じた。(すれちがう事ができない)	女性	50～59歳	由利地域
県内にずっと住んでいるが秋田の魅力がよく分からない所があるので、外に出た人、他県から見た秋田の魅力を把握し、それを生かしてはどうか？	女性	40～49歳	秋田地域
もっとPR活動に力を入れてほしい。	女性	30～39歳	秋田地域
他県との違い、良さをうまく表現していない様に思う	女性	70歳以上	仙北地域
ウドンとキリタンボだけ	男性	70歳以上	秋田地域
市町村は少ない予算の中ががんばっていると思うが…	女性	50～59歳	平鹿地域
アピール不足。行政の努力は見えるが、国の補助金の消化が目的の様なイベントがあるのは非常に残念です。イベントの予定等、まずは県内の人たちに知ってもらう必要があると思います。	男性	50～59歳	秋田地域
民謡などの全国大会の減少をなくしてほしい。	男性	60～69歳	秋田地域
発信しているのかもしれないが、果たしてどれだけの人が見ているのだろうか？興味があって調べた人が見るのはいいとしても、興味の無い人はいかに見てもらえるかが問題だと思う。もっとどんな人の目にも触れるものにしなくてはいけない。	男性	60～69歳	秋田地域
ほとんど県立の物は秋田市にある。そこまでいける足がない。	女性	60～69歳	仙北地域
なまはげ、かんとう、秋田犬、決まりきったことばかり	女性	70歳以上	秋田地域
秋田県民が文化の魅力に無関心。	男性	50～59歳	秋田地域
金を使えば、いくらでも立派な建物を作ることができ、国内外にアピールできているが、中身(イベントやよおしもの)がうすっぺらで、建物がもったいない。	女性	40～49歳	秋田地域
秋田県の名がついているもの(秋田犬)などは判り易いが、大谷石に対する和田石など、もっとハイブランドとして発信出来るものを、広く、粘り強く伝える必要があるのでは？	男性	60～69歳	秋田地域
知事ではなく、芸能人や企業の人々が接客的に県外、海外で宣伝した方が良いと思う。	男性	60～69歳	秋田地域
Youtuber等、インフルエンサーを活用し、魅力について発信すべき	男性	40～49歳	秋田地域
県内だけで喜んでいてと思う。一部の地区だけ伝えられている感じ。	女性	70歳以上	由利地域
地元の人が文化を理解していないので国内外に魅力を伝えるのはムリだと思う	女性	50～59歳	秋田地域
“何もない”という県民の意識改革。秋田出身や秋田好きだと発信している芸能人を見かけるようになった。そういう方たちの力をもっとかりてもよいのではないかと(大使になるだけではなく、具体的にどう動いても県として示した方がよいのでは？)	女性	30～39歳	秋田地域
日本を代表する舞踊家である土方巽の研究や資料を保存するセンターが秋田にない事を、非常に残念に感じる。	女性	30～39歳	秋田地域
秋田ならではの文化の魅力を、まず県民に伝えるべき。(若い世代を中心に)芸術劇場をオープンさせても秋田市外の何%が利用するのでしょうか？	女性	40～49歳	由利地域
秋田と中央圏の一番の差は、文化面だと思います。秋田は田舎という感覚がどうしてもあり…です。ナマハゲとカマクラ、カントウのみでは旧態依然とした状況です。ミルハスは県民向け駐車場困ります。	女性	70歳以上	秋田地域
県の文化・芸能がたくさんあるが、個々には内外に発信しているが全体として伝えられていない	男性	60～69歳	鹿角地域
神楽や民謡をもっと残せる部落にしてほしい	女性	70歳以上	仙北地域
秋田市ばかりではなく人口が少ないなりに集まる施設を造るなど、もう少し考えていただきたい	男性	40～49歳	北秋田地域
地域の盆踊を、良い事なので大事に残して、広めてほしい。	女性	50～59歳	秋田地域
SNSなど沢山の発信するものをつかった方が…国内外とはいいがたい	女性	40～49歳	秋田地域
個人にゆだねていませんか？県や市町村で自らの強みを見つけられませんか？	男性	50～59歳	秋田地域
秋田ならではの芸術家(小説家、美術作家etc.)の掘り起こし→啓蒙活動(紹介→文化資源として)。まだ大々的に世に知られず、素晴らしい才能にあふれた芸術家(その人生も含め)も秋田にはいます。	女性	50～59歳	平鹿地域
秋田といえば「〇〇」という祭りがあまりないように感じる。県内の人でさえ、知らない祭りがあるという状況があるのでふるさと教育に力を入れるべきだと思う。	女性	18～19歳	鹿角地域
文化施設に地域差があり、活動しやすい環境整備が必要である。	女性	50～59歳	秋田地域
一部の分野での部分的な話だと思ってしまう。そもそも発信している内容が自分まで来てないからわからない。	男性	20～29歳	北秋田地域
秋田県が考える魅力と他県の人々の秋田に対する魅力のアンマッチ。	女性	40～49歳	平鹿地域
国内外どころか県内にすら秋田の文化の魅力が伝わっていないのでは…と感じる	女性	30～39歳	秋田地域
秋田には国際教養大という世界中から人の集まる大学があるのに、なぜ、その優秀な若い方達の知恵を借りないのか。	男性	50～59歳	平鹿地域
地域で活動する文化団体の多くは高齢者である。活動支援の内容がわからない。	女性	70歳以上	由利地域
子どものいる家庭向けのイベントを増やしてほしいです	男性	30～39歳	平鹿地域
秋田犬、ナマハゲは認知度が高いがまだ知られていない伝統文化についても発信できるメディア戦略が必要では無いか。	男性	50～59歳	北秋田地域
今住んでいる自分達が何が魅力なのかよくわからない。自分達がわからないから、発信の段階でない。地域のいいところを個々の場所で認識できればいいと思う。	女性	60～69歳	秋田地域
秋田のディープな魅力を楽しめる宣伝がもっともっとあってもよいと思います。	女性	40～49歳	鹿角地域
様々な郷土芸能やお祭りなどまだまだ知られていないものがたくさんあるので、もっと秋田の文化を発信してほしい。	男性	60～69歳	秋田地域
テレビ、CMなど活用が必要 ネットだけでは高齢者に伝わらない	男性	40～49歳	仙北地域
花火以外はそれを目的に来県するほどの文化的行事がわからない	男性	30～39歳	山本地域
何を求めているかの調査不足	女性	70歳以上	雄勝地域

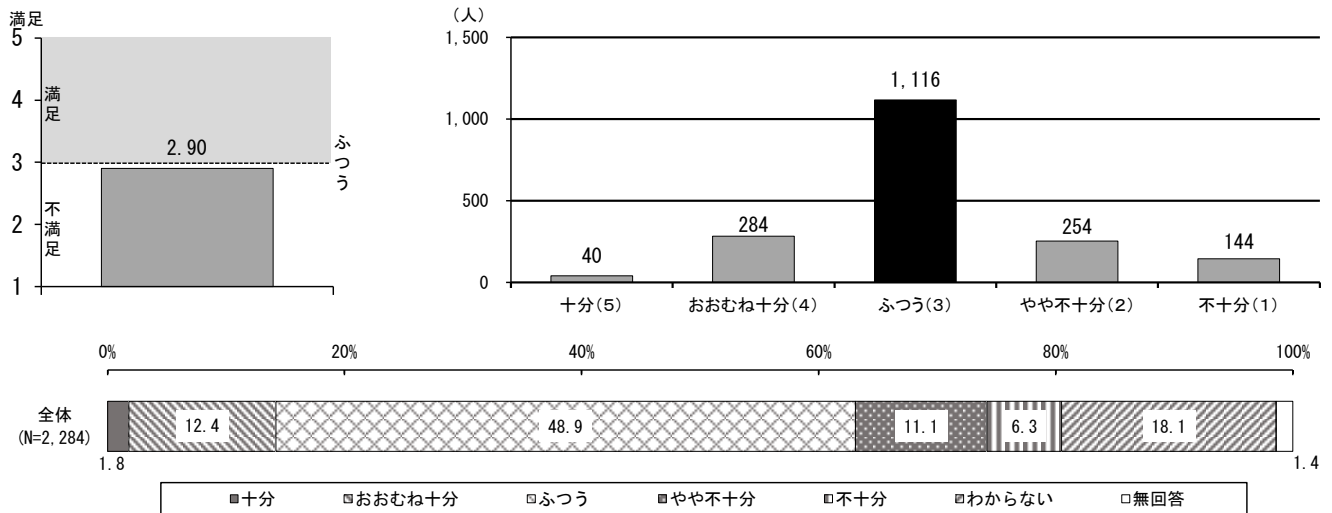
カ 生涯にわたり学び続けられる環境の構築

問 1-1-29 県民がライフステージや生活スタイルに応じて、生涯にわたり学び、文化芸術に触れる機会が提供されている。

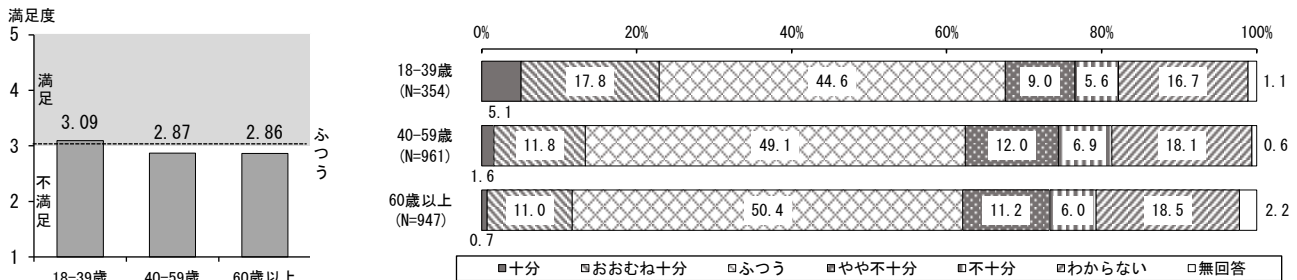
(a) 満足度の状況

5段階評価の満足度の平均値は2.90で、「ふつう」の3より0.10低かった。回答は「ふつう」が最も多かった。

「十分」と「おおむね十分」を合わせた割合は14.2%、「ふつう」は48.9%、「不十分」と「やや不十分」を合わせた割合は17.4%であった。また、不満を感じていない人の割合は63.1%であった。



年代別では、「18～39歳」の満足度は3.09で最も高く、不満を感じていない人の割合は67.5%であった。一方、「60歳以上」の満足度は2.86で最も低く、不満を感じていない人の割合は62.1%であった。



(b) 「不十分」「やや不十分」の理由

「不十分」と「やや不十分」を選択した398人に理由や県に求める取組を自由記述形式で質問したところ、53人(13.3%)から回答があった。

回答の一部

- 県都中心になりがちであり、全県での取組を望む。(男性/60歳代/平鹿地域)
- 良いもの、素晴らしいものがあるのでもっと宣伝をし、提供する場所を多くしてほしいです。(女性/50歳代/秋田地域)
- 社会人でも夜間やオンライン学習でスキルアップできるように環境を整えてほしい。(男性/30歳代/秋田地域)

【「不十分」と「やや不十分」を選択した理由や県に求める取組(抜粋)】 問1-1-29 県民がライフステージや生活スタイルに応じて、生涯にわたり学び、部文化芸術に触れる機会が提供されている。	性別	年齢	居住地域
県都中心となりがちであり、全県での取組を望む。	男性	60～69歳	平鹿地域
高齢者の積極的な参加がもう少し欲しい	男性	70歳以上	山本地域
どこにいった何をすればいいかわからない	女性	40～49歳	秋田地域
地域により差がありすぎる	男性	70歳以上	山本地域
高齢化でサークル等、減少している	女性	50～59歳	由利地域
年齢層によってばらつきがあると思う	女性	50～59歳	秋田地域
どこでやっているんでしょう？広報にもないですね？	女性	50～59歳	秋田地域
身体障害者はどうする	男性	70歳以上	秋田地域
地域の人たちとのかわりがない	男性	70歳以上	秋田地域
生涯教育が足りないと思う	男性	50～59歳	平鹿地域
文化芸術に触れたいが、そのための時間とお金がない	男性	30～39歳	雄勝地域
ミルハスに集中され、その次の施設がないため、広く活動ができなくなっているのではないかと。千秋公園での唯一の文化活動と思われた千秋茶会が終りそうなのは、文化の恥である。	女性	70歳以上	秋田地域
いいもの、すばらしいものがあるのにもっと宣伝をし、提供する場所を多く欲しいものです。	女性	50～59歳	秋田地域
いろいろな企画をしても知らない人が多いと思います。今時新聞とらない人が多いし。	女性	50～59歳	秋田地域
教室などがもっとたくさんあると良い。	女性	40～49歳	由利地域
市内に現代美術館があると良い。市内の図書館の蔵書が不十分であると感じる。若者の文化力が秋田にいと少し遅れる形になっていると思う。	女性	30～39歳	秋田地域
多くの生涯学習や趣味サークルは、日中に行われていて、仕事をしている人には難しいでしょう。文化芸術に関して、かなりの地方では足をこべません。報道の力を借りたいです。	女性	60～69歳	由利地域
地域格差がある。	男性	70歳以上	山本地域
もっと身近に文化芸術に触れる機会が欲しいし、体験無料でいろいろやって欲しい。	女性	40～49歳	北秋田地域
もっと音楽、絵画、充実した事ができれば 市役所広報に行ってもがっかりな行事が多すぎる ちまたのレッスンは高過ぎる	女性	60～69歳	秋田地域
秋田市と他いくつかの市と、それ以外の市町村では、充実度の格差が大きい。特に能代市は歴史資料館はじめ、文化芸術の展示施設が存在せず、要望は出されているが、いまだ具体的に何の見通しもない	女性	50～59歳	山本地域
場所はそれなりにあると思うのですが、県内の文化と芸術のレベルは高いとは感じられません。渋谷文化村や東京芸術劇場、または東京ミッドタウンくらいの集合施設があれば別ですが…博物館は県南から遠いし…	男性	50～59歳	仙北地域
形だけの箱物で満足せず、活用してほしい	女性	60～69歳	由利地域
県の美術館など他県と比べると最低の施設。展示物の量、美術館の作り、メールなど人を引き付けるものがない。税金をかけた無駄な箱物。隣県の美術館をうらやましく感じる。	男性	60～69歳	秋田地域
本物の芸術に触れる機会が足りない。県立美術館の企画にあまり魅力を感じない。	女性	50～59歳	秋田地域
漫画大国、秋田のアピールを！	男性	50～59歳	平鹿地域
小中高生の入場は無料とすることだ。ミルハスの設計ミスは秋田の文化程度を表すと、他県人から笑われている。閑散とした温泉街に若い作家志望を呼び2週間のコンペでもやるような思い切りが、なくては	男性	60～69歳	雄勝地域
秋田市に文化施設などが偏っている為、足を運ぶ事が少ないに	男性	40～49歳	秋田地域
自分も含め周りでもそのようなことをしている人がいないため。仕事と家庭で時間にも余裕がなくそこまで考えられない。	女性	40～49歳	仙北地域
選択肢が少ない。やる人は個別にネットを介して活動するだろう	男性	50～59歳	仙北地域
芸術に興味ない	男性	40～49歳	仙北地域
社会人でも夜間やオンライン学習でスキルアップできるように環境を整えてほしい。	男性	30～39歳	秋田地域
提供されているのかもしれないが見聞きする機会があまりなくわからない	男性	30～39歳	山本地域
文化芸術に触れるためには個人的に習い事などをしないといけない現状。県としての何か推進策が欲しい。	女性	50～59歳	秋田地域
スマホやITに関して年配の方は学習が困難と思われる方が多いですし、県立の施設は秋田市やその郊外なので車ないと行けないんじゃないでしょうか。	男性	50～59歳	北秋田地域

6 文化芸術の鑑賞・活動について

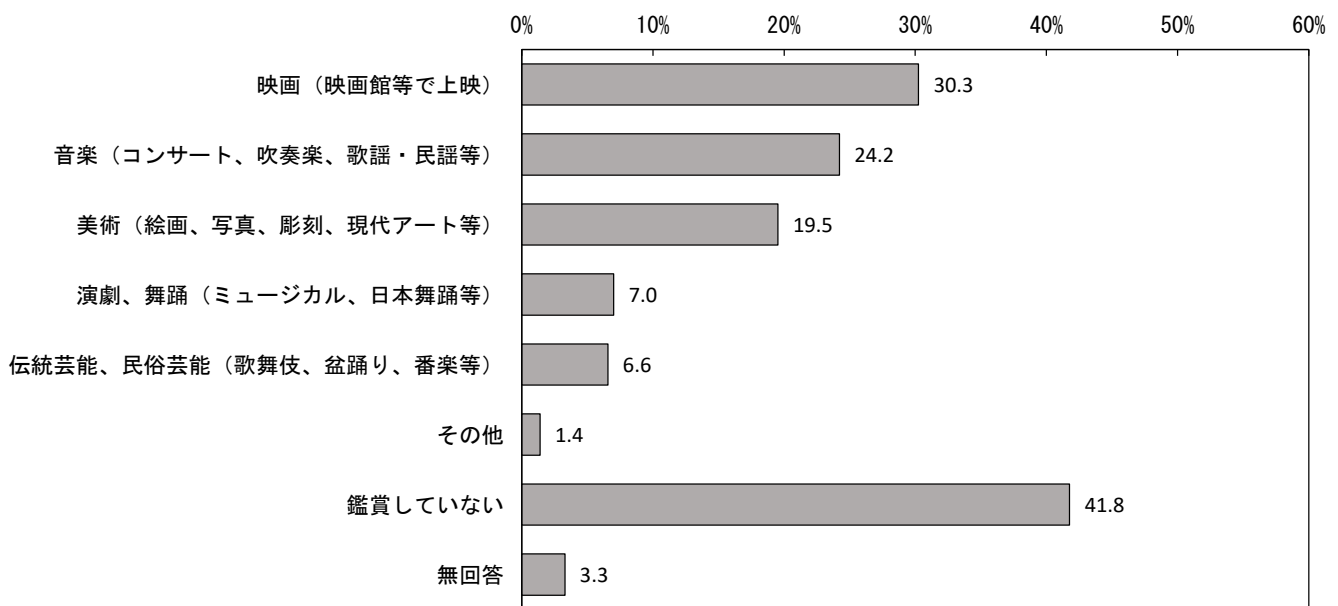
(1) 文化芸術の鑑賞の頻度

① あなたは、ここ1年間に文化施設等に出向いて直接鑑賞した文化芸術はありますか（〇はいくつでも）。

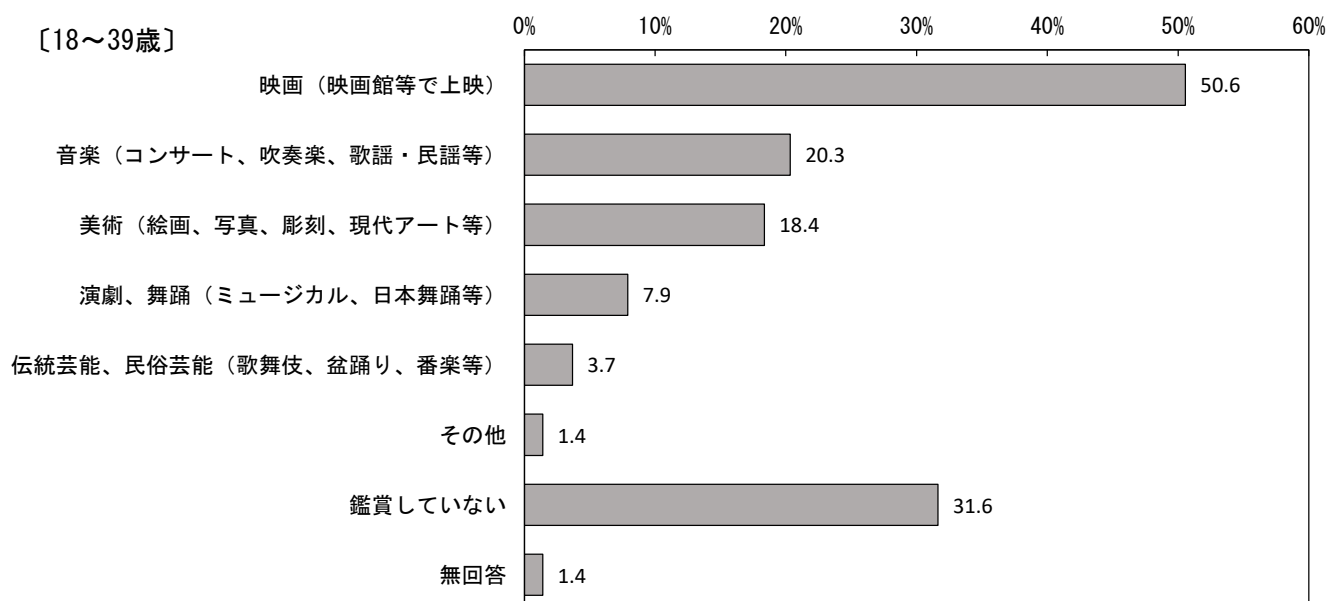
全体では、「鑑賞していない」の割合が41.8%と最も高く、次いで、「映画」が30.3%、「音楽」が24.2%で続いている。

年代別では、18～39歳では「映画」が50.6%で最も高く、40～59歳と60歳以上では「鑑賞していない」がいずれも4割で最も高くなっている。また、「映画」は、年代が上がるにつれて割合が低くなっている。

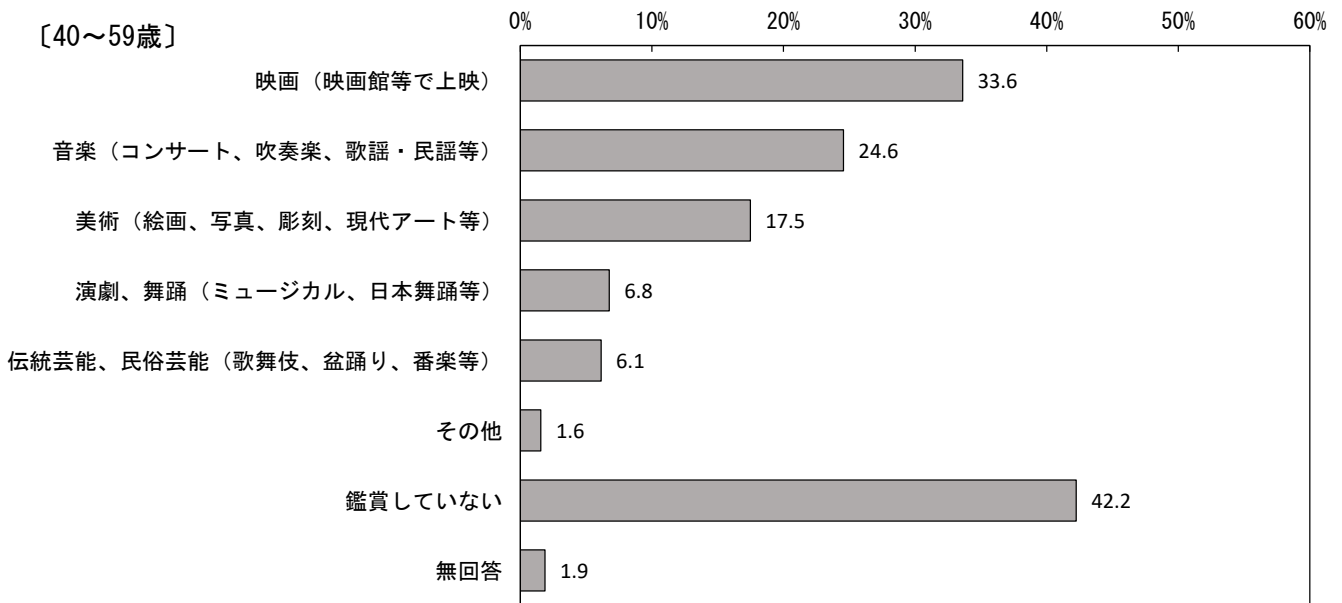
【全体】



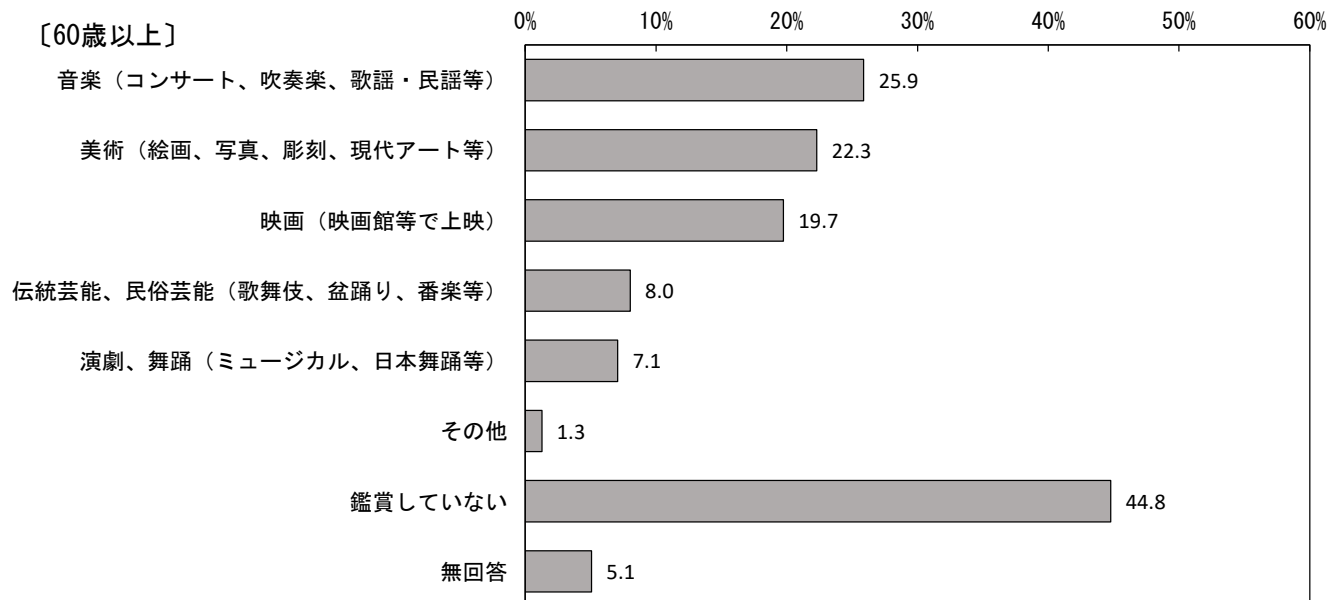
【年代別】



[40～59歳]



[60歳以上]



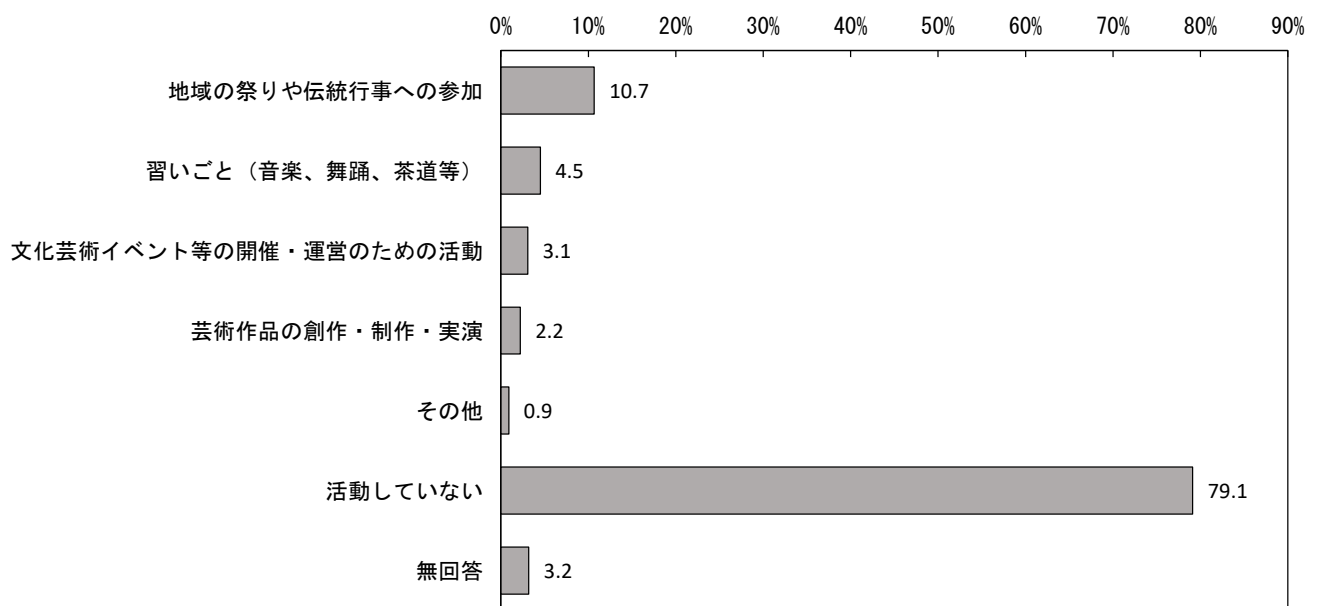
(2) 文化芸術の活動の頻度

② あなたは、ここ1年間に芸術作品の創作、文化イベントへの出演・参加、文化事業でのボランティア活動などを行いましたか（〇はいくつでも）。

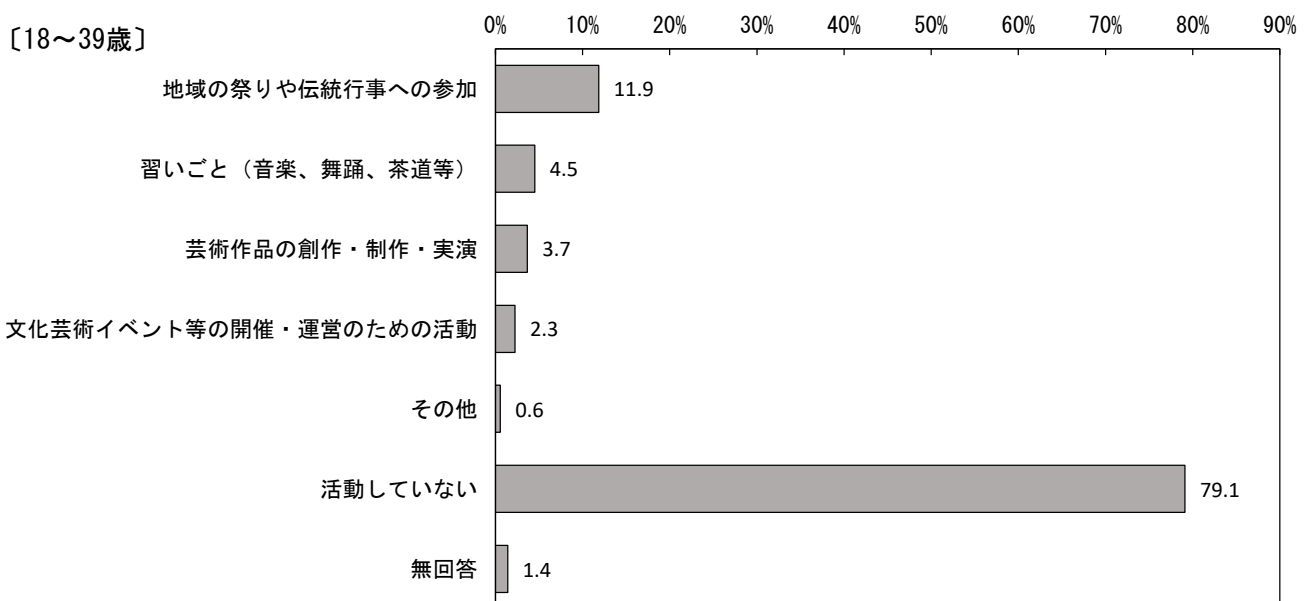
全体では、「活動していない」の割合が79.1%と最も高く、次いで、「地域の祭りや伝統行事への参加」が10.7%、「習いごと」が4.5%が続いている。

年代別では、全年代共通で「活動していない」の割合が最も高く、次いで、「地域の祭りや伝統行事への参加」、「習いごと」が続いている。

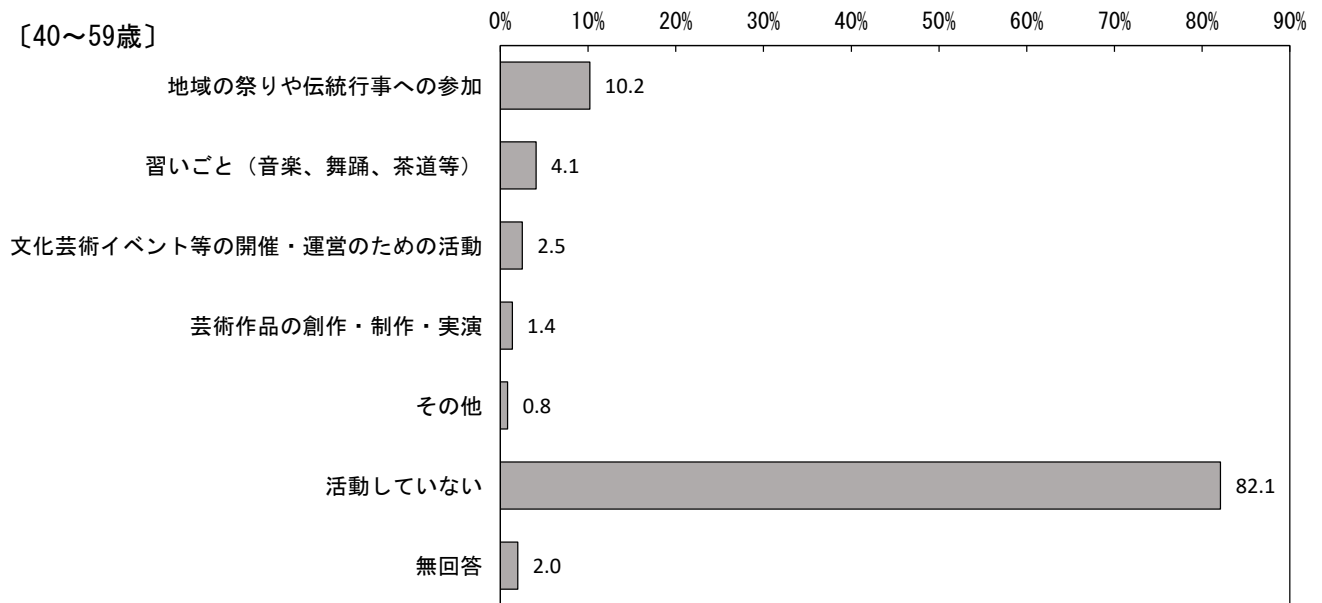
【全体】



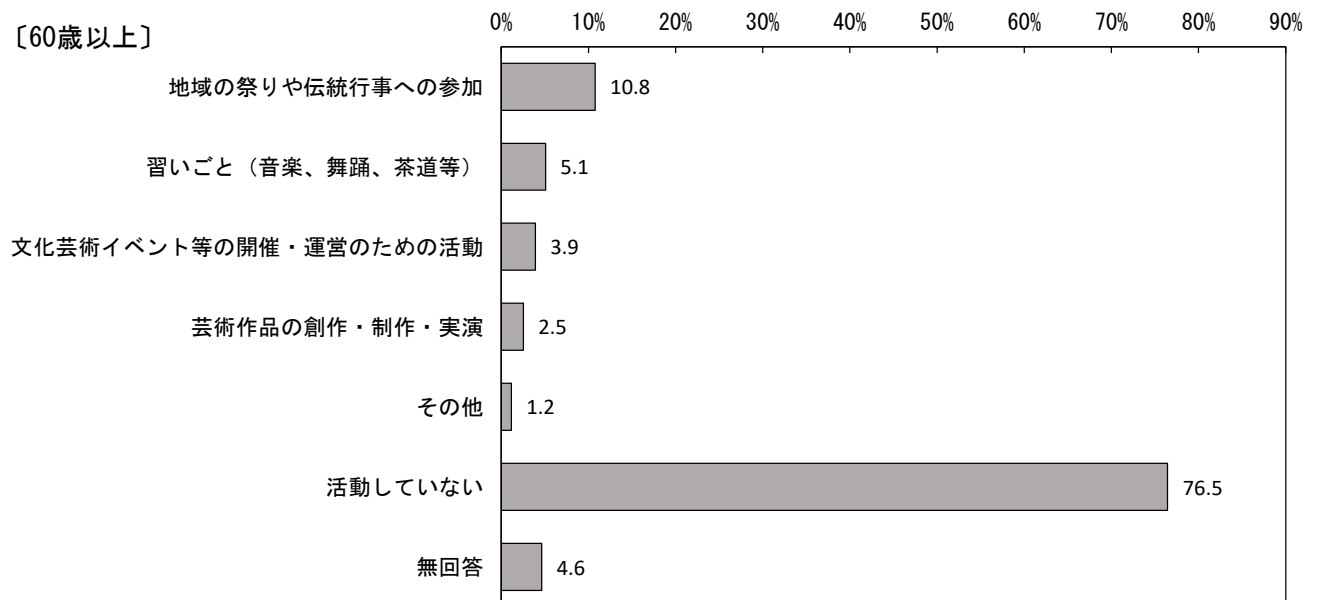
【年代別】



[40～59歳]



[60歳以上]



第4章 県政への自由意見について

県に力を入れてほしいことや、県が取り組むべきだと思うことについて、何でもお気軽にお聞かせください。(問4)

【集計の方法】

回答は内容からA～Nの14項目に分類した。同一の回答者が複数の意見を記入している場合には、項目を分けて別意見として扱っている。

1 自由意見の項目別件数

項番	項 目	件数
A	商工業・雇用・労働に関すること	155
B	農林水産業に関すること	55
C	観光に関すること	39
D	文化・スポーツに関すること	39
E	道路・交通ネットワークに関すること	76
F	移住・定住に関すること	59
G	結婚・出産・子育てに関すること	140
H	女性・若者の活躍に関すること	38
I	地域社会の維持・活性化に関すること	21
J	健康・医療・福祉に関すること	83
K	教育・人づくりに関すること	39
L	防災減災に関すること	9
M	生活環境・自然環境に関すること	69
N	県政全般に対する意見・その他	308
合 計		1,130

C. 観光に関すること

- 風土、自然、食べ物、人柄、あらゆる面で非常に恵まれている秋田県の良さを、十分に県外に発信されているとは言いがたく非常に残念に感じます。(女性/50歳代/秋田地域)
- 各市町村、良い所がそれぞれ沢山あるが、それをつなげた「観光コース」をもっと作ってほしい。県外の人を案内する時にすごく迷う。(女性/50歳代/秋田地域)
- 個人レベルでの観光については、ハイクラスの宿泊施設が不足しているとの声を県外の人からよく聞きます。専門的な知識を持つアドバイザーの派遣などを斡旋し、既存の宿泊施設をグレードアップさせる方策等を模索していたたければと思います。(女性/50歳代/平鹿地域)
- 観光地は沢山あるが、アピール度が低いためか、他県より観光客が少ないように見える。(女性/60歳代/仙北地域)

D. 文化・スポーツに関すること

- 秋田の文化などをもっと広めていくべき。私たち秋田県民もよく分かっていない。他県に広める前に、秋田県民に先に広めてみてはどうか。(女性/10歳代/北秋田地域)
- スポーツをやらせるのにもお金がかかりすぎる。せっかく土地もありスポーツにも力を入れているのなら、子どもたちが家庭の事情でできないということのないサポートがあると嬉しいです。(女性/30歳代/平鹿地域)
- 秋田県民歌。いい歌だが普段生活しているとまず聞く機会がない。郷土意識の向上にもう少しうまく使えるのではないか。(男性/30歳代/山本地域)
- 他県では盛んではない特徴的なスポーツを県の競技として推したり、お金がかかる競技に手厚い支援をしたりすることで、競技を支えていく取組がもっとあってもいいのではないのでしょうか。(男性/50歳代/平鹿地域)

E. 道路・交通ネットワークに関すること

- 交通の便をよくするべきだと思います。これさえよくなれば人は絶対に秋田に来ると思います。(女性/10歳代/鹿角地域)
- 秋田県内を車がなくても移動しやすいように、公共交通機関を見直してほしい。(男性/30歳代/秋田地域)

J. 健康・医療・福祉に関すること

- 自殺未遂・自殺防止への取組が必要。ただでさえ秋田県は少子高齢化が進んでいる。いじめに対する処罰を重くするなど、もっと早く見つけることが必要。(女性/10歳代/北秋田地域)
- 私自身不妊治療を経験し、都会と地方での医療格差をととても感じました。里親について調べた際も、秋田県の委託率の低さに驚きました。(女性/30歳代/秋田地域)
- 障害者支援や子育て支援など、充実した支援があるのに、利用できるか分からなかったり支援自体があることが分からなかったりするるので、もっと該当する人が分かりやすいようにしてもらえたらと思うことがある。(女性/30歳代/由利地域)
- 子育て支援だけでなく 8050 問題に苦しんでいる世帯にも支援が必要と思います。生活保護を受けていないものの、困窮している世帯の支援をお願いします。(女性/50歳代/秋田地域)
- 健康寿命が長いのは良いが、寝たきり、認知機能の低下により、ただ生かされているだけの生活はどうなのかなと考えさせられます。(女性/60歳代/鹿角地域)
- 障害のある子どもの親亡き後のことがとても心配・不安です。入所できる場をもっと増やしていただきたいと思います。(女性/60歳代/由利地域)
- 介護職員の処遇改善を更に進めてほしい。(男性/60歳代/秋田地域)
- これから高齢者がますます増えていくと思うので、高齢者が生活しやすい、住みやすい県であってほしい。日本で秋田県が一番、高齢者が安心して暮らせる県になってもいいのではないのでしょうか。(女性/70歳以上/北秋田地域)

K. 教育・人づくりに関すること

- 学校教育の一環として行われているふるさと教育を、県外の方々とも交流できる一つ的手段として、今よりも更に広げてほしい。また、より学びを深められるような手立てがあればよいと思う。(女性/20歳代/鹿角地域)
- 高齢者施設と学校などが連携して、学校祭への参加や施設訪問などを通じて交流することで、良い影響があると思う。(男性/20歳代/秋田地域)
- 支援が必要な子どもに対して、早期に取り組める専門的な場所が少ない。また、家族への支援が乏しく、悩みを抱えている人へ行政がもっと積極的に対応してもらいたい。(女性/40歳代/秋田地域)

- 文化財保護に目を向けてほしい。また、これに携わる人材育成にも努力してほしい。郷土愛に満ちた県民を作るには身の回りの文化を知ることです。(男性/60歳代/秋田地域)

L. 防災減災に関すること

- 災害対策、特に冬季の雪害に力を入れてほしい。(男性/40歳代/秋田地域)
- 隣県にバスで旅行して感じたことですが、川幅が広いなど、洪水に対する対策ができていると思いました。県内では土砂の堆積や両側の木が繁茂して狭くなっているところもあるので、自然を損ねない程度に整備して災害に備えてほしいと思いました。(女性/70歳以上/仙北地域)

M. 生活環境・自然環境に関すること

- 野生の生物が最近よく家の近くに現れるようになり、野生の生き物たちも大変だと感じる事が多くなったので、自然環境保護に取り組んでほしいです。(女性/30歳代/秋田地域)
- 空き家問題。放置されてどんどん朽ち、壊れ、荒れ果てた家はとても怖いです。見た目もきれいで使える空き家の活用も考えていかないといけないと思います。(女性/30歳代/秋田地域)
- 車社会の秋田であっても、まずは歩道の整備が必要。(女性/40歳代/秋田地域)
- 道路へのタバコのポイ捨てが多いと感じます。美しい秋田を保つためにもぜひ取組の検討をお願いします。(男性/40歳代/秋田地域)
- 地域猫活動に力を入れてほしいです。毎年生まれてくる飼い主のいない子猫をこれ以上増やさないためにも、不妊手術は絶対必要です。これは個人でやるにも限界があります。もっと行政が動くべきだと思います。(女性/50歳代/仙北地域)
- 冬期間の除雪体制が後手に感じられる。(男性/50歳代/秋田地域)
- 空き家を有効利用できる取組や空き家バンクなどをもう少し広げてほしい。(女性/60歳代/秋田地域)
- 年間3分の1は雪との闘い。雪対策を考慮するべきと思う。(男性/70歳以上/北秋田地域)